

# 擁壁

# プレキャストウォール 車道用 L 型擁壁



- ザ・ウォールII
- フラットウォールII
- NPウォール**
- ガーディアンII
- ハーデンロック
- 間知ブロック
- テラグリーン
- グリーンエコ
- 小口止ブロック
- 基礎ブロック
- eベース
- 縦締用ボックスカルバート
- ジョイントボックスカルバート
- FX側溝
- FX可変側溝
- 大型FX可変側溝
- FR横断側溝
- IGU
- RV-OTU
- エプロンブロック
- U形側溝
- L形側溝
- 雨水樹
- 歩車道境界ブロック
- 地先境界ブロック
- 縁石
- ベンチフリーム
- 大型フリーム
- SRフェンス
- 自在R連続基礎
- RS基礎
- 積ガード
- フィールドボックス
- 組立柵
- 外フラット式集水樹
- HC床版
- 家のねっこ工法
- ガーデンウォール





特徴

1 高品質 ~ゆきとどいた品質管理~

厳重な品質管理のもとに一貫生産され、十分に養生した後、現地搬入するシステムをとっておりますので、製品は均一で総合的な強度は高く、安心してお使いいただけます。

2 安全 ~安全・コンパクト設計~

工場において製作され、経済的な断面を採用し運搬および施工を考慮した安全コンパクトな形状寸法です。

3 省力化 ~施工のスピード化省力化~

据付は機械施工のため工期の短縮、施工の省力化ができます。

4 有効利用 ~土地の有効利用~

前壁が垂直なので、高価な土地を最大限に利用できる上、境界線の区分を明確にできます。

設計条件

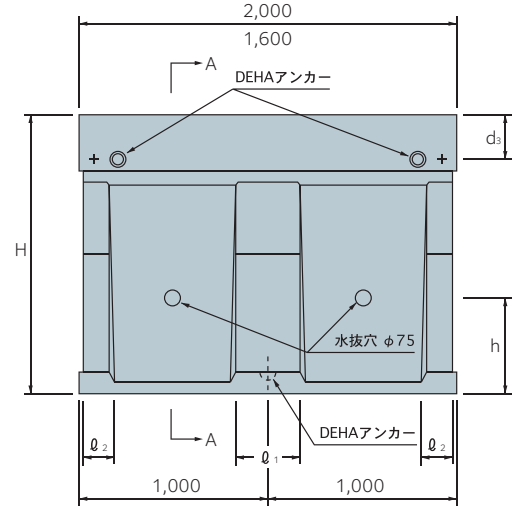
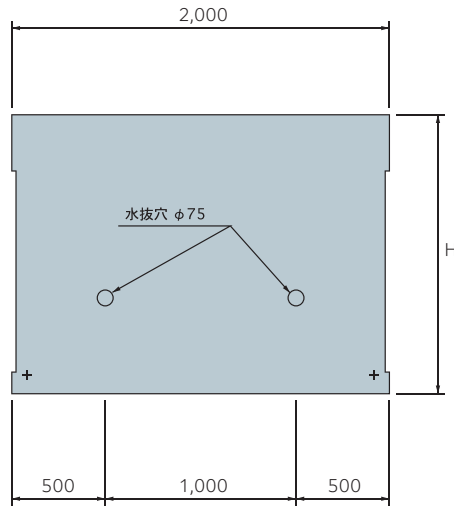
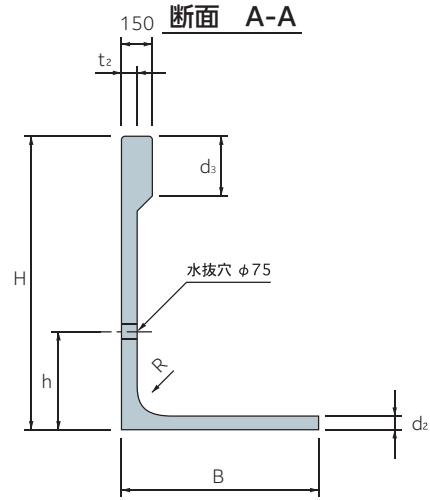
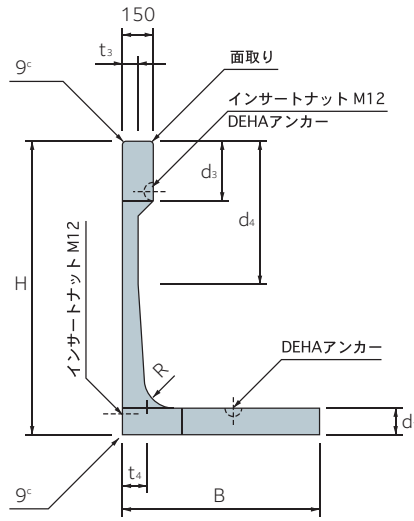
- 上載荷重 (車道用) .....  $q = 10\text{kN/m}^2$
- 裏込め土の内部摩擦角 .....  $\phi = 30^\circ$
- 壁面と裏込め土と摩擦角 .....  $\delta = 1/2 \cdot \phi = 15^\circ$
- 滑動面の摩擦係数 .....  $\mu = 0.6$
- 裏込め土の単位重量 .....  $W_r = 19\text{kN/m}^3$
- 鉄筋コンクリートの単位重量 .....  $W_c = 24.5\text{kN/m}^3$
- 転倒に対する安全条件として、合力の作用位置は底版幅の中央 1/3 以内でなければならない。
- 滑動に対する安全条件として、 $F_s = \frac{\text{滑動に対する抵抗力}}{\text{滑動力}} \geq 1.5$



- ザ・ウォールII
- フラットウォールII
- NPウォール**
- ガーディアンII
- ハーデンロック
- 間知ブロック
- テラグリーン
- グリーンエコ
- 小口止ブロック
- 基礎ブロック
- eベース
- 縦溝用ボックスカルバート
- ジョイントボックスカルバート
- FX側溝
- FX可変側溝
- 大型FX可変側溝
- FR横断側溝
- IGU
- RV-OTU
- エプロンブロック
- U形側溝
- L形側溝
- 雨水樹
- 歩車道境界ブロック
- 地先境界ブロック
- 縁石
- ベンチフリューム
- 大型フリューム
- SRフェンス
- 自在R連続基礎
- RS基礎
- 積ガード
- フィールドボックス
- 組立樹
- 外フラット式集水樹
- HC床版
- 家のねっこ工法
- ガーデンウォール

製品図 <車道用 (1.0t/㎡)>

H = 600  
~ 3500



寸法表

H	B	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	t <sub>2</sub>	t <sub>3</sub>	t <sub>4</sub>	ℓ <sub>1</sub>	ℓ <sub>2</sub>	d <sub>1</sub>	d <sub>1</sub> '	d <sub>2</sub>	d <sub>3</sub>	h	製品重量kg	
														総重量	底板ブロック
600	650	—	—	65	75	75	300	150	75	—	65	200	250	480	—
800	730	—	—	65	75	75	300	150	75	—	65	300	250	620	—
1,000	850	—	—	85	95	100	300	150	80	—	65	300	500	800	—
1,200	970	—	—	85	100	130	300	150	110	—	65	300	650	990	—
1,400	1,090	—	—	90	100	150	300	150	130	—	70	300	650	1,210	—
1,600	1,210	—	—	90	100	180	300	150	160	—	70	300	650	1,440	—
1,800	1,330	—	—	100	110	210	300	150	180	—	70	300	650	1,730	—
2,000	1,450	—	—	100	110	210	300	150	180	—	70	300	650	1,910	—
2,200	1,570	—	—	100	120	240	300	150	210	—	70	300	650	2,230	—
2,400	1,690	—	—	100	120	260	300	150	230	—	70	300	650	2,510	—
2,600	1,810	—	—	110	130	305	300	150	265	—	70	300	650	3,040	—
2,800	1,930	—	—	120	130	335	300	150	295	—	80	300	650	3,550	—
3,000	2,040	—	—	120	130	335	300	150	295	—	80	300	650	3,840	—
3,500	2,340	—	—	80	150	350	350	175	350	220	80	600	750	4,180	—

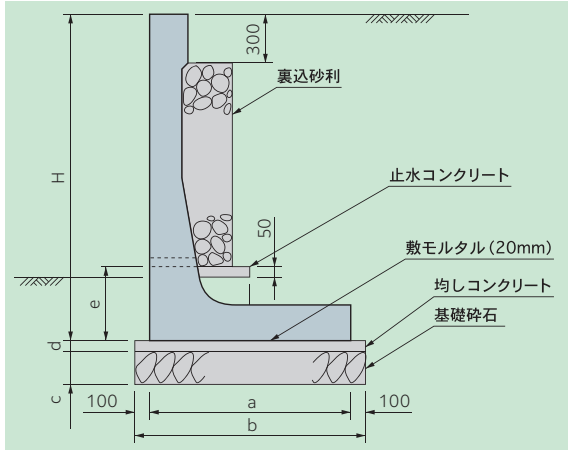
※H=3,500以上については水抜き穴は4ヶ所とする。図示するhより上方1.0mに設置する。

H=3,500以上の接合部水抜きは( )数値とする。

※短尺製品は、1mまで短縮できます。

施工例

標準施工図



築造仕様

- 敷設された基礎盤上にモルタルを敷き、クレーンにより所定の吊り上げ方法にもとづき、ウォールを設置する。
- 接続用プレートを用いて底よりバランス良く連結する。
- 背面浸透水が基礎部に浸透しないように、水抜孔の高さまでの前後部及び底盤部に目地詰めを行う。
- 壁面の目地部及び水抜孔に非腐食性のフィルターを貼付ける。
- 埋め戻しはブルドーザー等により、直接壁面に後方からの水平力がかからないようにする。
- 施工用の吊り金具は deha システムを使用する。

寸法表

H	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	3,500
a	650	730	850	970	1,090	1,210	1,330	1,450	1,570	1,690	1,810	1,930	2,040	2,340
b	850	930	1,050	1,170	1,290	1,410	1,530	1,650	1,770	1,890	2,010	2,130	2,240	2,540
c	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	200	200	200
d	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	150	150	150
e	213	213	463	463	463	463	463	463	463	513	513	563	613	713

布設歩掛

項目		単位	500~1000	1100~2000	2100~3500
土木一般世話役		人	0.22	0.26	0.33
ブロック工		人	0.22	0.26	0.33
普通作業員		人	0.67	0.79	1.00
バックホウ運転費	山積み0.8m <sup>3</sup> 平積み0.62m <sup>3</sup> 2.9t	日	0.22		
ラフテレーンクレーン賃料	25t	日		0.26	0.33
雑工種	基礎碎石	%	45	53	60
	均しコンクリート	%	74	87	98
諸雑費		%	16	18	20
日当り施工量		m	45	38	30

- 注) 本歩掛は平成23年度国土交通省土木工事標準積算基準書を引用しています。
1. 本歩掛で対象としている製品は1ブロックを1部材で構成するプレキャスト擁壁です。
  2. 歩掛は運搬距離10m程度までの現場内小運搬を含むものであり、床掘り、埋戻し、残土処理は含まれません。
  3. バックホウ・ラフテレーンクレーンは賃料とします。
  4. 雑工種(基礎碎石・均しコン)及び諸雑費は労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限とします。  
(基礎碎石) 敷設・転圧労務・材料投入・締固め機械運転費・碎石等材料費です。  
(均しコン) 打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務・電力に関する経費、シュート・ホッパパイプ・タダ料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費です。  
(諸雑費) 敷モルタル・目地モルタル・排水材の費用です。
  5. 基礎碎石の敷き均し厚は20cm以下を標準としており、これより難しい場合は別途考慮願います。
  6. 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できます。
  7. 本歩掛には均しコンクリート型枠施工時の剥離剤塗布及びケレン作業を含みます。

材料数量表 (標準例)

項目	単位	10m当り													
		600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2200	2400	2600	2800	3000	3500
均しコンクリート	m <sup>3</sup>	0.85	0.93	1.05	1.17	1.29	1.41	1.53	1.65	1.77	1.89	2.01	3.20	11.48	3.81
均し型枠	m <sup>2</sup>	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	3.00	10.20	3.00
基礎碎石	m <sup>3</sup>	8.50	9.30	10.50	11.70	12.90	14.10	15.30	16.50	17.70	18.90	20.10	21.30	22.50	25.40

- ※基礎碎石は面積で表記しています。  
 ※裏込砂利・止水コンクリート・水抜き穴及び擁壁間の縦水抜きには必ず吸出防止材を施工してください。  
 ※裏込砂利の厚さは30cm~40cm程度です。  
 ※擁壁底版と均しコンクリートの間に隙間が生じないようにモルタルを密に充填してください。

ザ・ウォールII

フラットウォールII

NPウォール

ガーディアンII

ハーデンロック

間知ブロック

テラグリーン

グリーンエコ

小口止ブロック

基礎ブロック

eベース

縦溝用ボックスカルバート

ジョイントボックスカルバート

FX側溝

FX可変側溝

大型FX可変側溝

FR横断側溝

IGU

RV-OTU

エプロンブロック

U形側溝

L形側溝

雨水樹

歩車道境界ブロック

地先境界ブロック

縁石

ベンチフリューム

大型フリューム

SRフェンス

自在R連続基礎

RS基礎

積ガード

フィールドボックス

組立樹

外フラット式集水樹

HC床版

家のねっこ工法

ガーデンウォール